

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中
送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和5年3月3日
派遣決定番号 [REDACTED]
報告回次 3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-------|----------------------------|---------|--------------|-----------|--|
| 団体名 | 稚内市 | 代表者名 | 工藤 広 | | |
| 担当者部署 | 企画総務部総務防災課 | 連絡先電話番号 | 0162-23-6406 | | |
| 担当者役職 | 主査 | 担当者氏名 | 倉 寿彦 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 097-8686 北海道稚内市中央3丁目13番15号 | | | | |

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|------------------------------|--|
| アドバイザー | 森本 登志男 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に) | 自治体におけるDX推進(行政・マチ)は、現職員のみで効果的に実施していくことが現実的に困難であることから、次年度以降にデジタル外部人材の活用について検討を進めているところであり、活用にあたっては単にデジタルに関する知見のみならず、行政の仕組みや運用体制についての理解も必要不可欠な面であると捉えている。 森本アドバイザーは、この点をはじめ幅広い分野に精通しており、今回の支援を受けたことにより、本市の現状や次年度以降どのように進めていくことで効果的な自治体DXに寄与するか、親身にアドバイスいただけたと感じたため。 |
| アドバイザーへの要望事項 | |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日 (申請書より) | 支援内容 (申請書より) | 期日・支援内容の変更あり | WEBでの手続き日 | 受付番号 |
|-------------|----------------|----------------|--------------|-----------|----------|
| | 令和5年1月30日 | フォローアップ(オンライン) | 有 | 令和5年2月24日 | 591 |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) |
| | 令和5年2月24日 | フォローアップ(オンライン) | 10時30分 | 11時30分 | |
| | | | | 活動時間(分) | 60 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 稚内信金東支店 | 最寄駅 | 稚内駅 | |
| | 所在地 | 稚内市潮見1丁目2-31 | 最寄駅からの交通手段 | 自家用車(送迎) | |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|---|----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員 | 4人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) | 自治体DX(行政・マチ全体)を効果的かつ具体的に進めていくための手法 まずは推進体制の確立や変革に向けたスキームの落とし込み 変革風土の醸成(研修やセミナー、具体的な作業による変革の体験) 施策予算への反映 市民や民間を巻き込んだDX推進 | |
| 支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい) | 行政及びマチ全体(様々な主体)がDXの意義や目的について理解し、変革風土のもとで業務改革や地域課題を改善するための取り組みを主体的に行うことで、持続可能で魅力あふれる地域を目指す。 市民をはじめ企業や行政が、デジタルによる利便性を体験・実感し、ポジティブな変革風土を生み出す。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 次年度以降、本市における自治体DXを加速させるためのステップについて 令和5年度に取り組むべき施策(意識醸成に向けた着手・変革風土への仕掛け・予算化等) 令和6年度以降に取り組むべき施策(意識醸成・変革風土に向けた継続取組・予算化等) | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 | 令和5年度以降の自治体DXに向けた取組ステップの明確化 デジタル外部人材活用に向けた説明資料の肉付け | |

| | | |
|---|--|-------------------------|
| (具体的にご記入下さい) | ア | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ②次年度に予算化を図り推進する |
| 事業の最終的な目指す姿 | | |

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

